

## はくさい収穫機の実演を行いました

開催日 7月28日

場所 木曾町開田高原

内容

木曾地域では、地域ブランドとして「御嶽はくさい」が定着しているものの、生産者の高齢化等により生産量が減少し、産地としての維持対策が急務となっています。

特に、はくさいの収穫作業は腰を曲げる作業が多く足腰等へ負担がかかるため、「最も負担が大きい作業」と仰る生産者も少なくありません。

こうした背景から、木曾農業農村支援センターでは重点活動「御嶽はくさい産地の再構築」の作業改善の取り組み支援の一環で、はくさい収穫機の実演検討会を開催しました。

はくさい収穫機は、生産者は立った姿勢のまま作業を行うことができるため、従来の作業姿勢と比べ足腰への負担を軽減することができます。

当日出席した生産者は収穫機に興味津々に見ており、ほ場を提供いただいた生産者からは「ある程度使えそう」との評価を頂きました。

近年、はくさい等の重量品目は作業負担の軽労化を図るためアシストスーツ等のスマート農業が盛んに試験されています。

今回実演検討したはくさい収穫機も課題はありましたが、こうした機械が動く姿は近未来の農業風景に見えました。

